

2011年度

科目名	宗教学B				
担当教員	貫名 讓				
配当	文 1			コード	51004
開期	後期	講時	金曜日1限	単位数	2
授業テーマ	日本仏教の展開と親鸞(真宗)の教え				
目的と概要	本学は「大乘仏教の教えと、真宗の宗祖・親鸞聖人の御教え」を理念として建てられた大学です。その理念を具現化するのが、宗派・情操教育の一環として行われる「お花まつり・報恩講」などの宗教行事と、宗教学という学問的体系として展開される「宗教学」(講義)です。どちらも慈悲の精神(相手を思いやる心)の重要性と、大乘仏教の真髄を究極のレベルにまで高められた親鸞聖人の人生観を通して、人としての心を学ぶ場です。 そこで「宗教学B」の講義では、日本に仏教が伝わってきたところからみていき、奈良時代・平安時代・鎌倉時代と、仏教がどのように変遷・展開していったのかをみていこうと思います。そして、本学の建学の精神に深く関わる親鸞について、彼の人生観と思想をうかがっていきます。いま何が必要なのかを考えていくヒントにしてほしいと思っています。				
成績評価法	総合評価(平常点・試験)				
テキスト	経験論の宗教学／荻野勝行・貫名讓共著／杉山書店				
参考書					
履修に当たっての注意・助言/準備学習	特定の宗派教育を行うものではありません。仏教・親鸞思想を一つの材料として、自らの生き方・ものの考え方を模索・探究する場として欲しいと思います。また、日常生活の中にある宗教的ことがらに関心を持ってみていくようにしてください。				
講義計画					
1. オリエンテーション：講義の概略と進め方 2. 日本仏教 3. 聖徳太子の仏教観 4. 南都(奈良)仏教 5. 平安仏教 6. 鎌倉新仏教 7. 親鸞の生涯とその思想① 得度と比叡山での修行 8. 親鸞の生涯とその思想② 法然との出遇い(他力とは?) 9. 親鸞の生涯とその思想③ 阿弥陀仏と名号 10. 親鸞の生涯とその思想④ 「信じる」とは? 11. 親鸞の生涯とその思想⑤ 法難と伝道教化(非僧非俗) 12. 親鸞の生涯とその思想⑥ なかまと家族との関わり 13. 親鸞の生涯とその思想⑦ 帰洛と往生 親鸞の生き様(人間観) 14. まとめ 15. 試験					